

I 見直しにあたっての考え方


検討委員会での意見

- ・駅からまちへの連続した歩行者動線の確保
- ・駅とまちの一体感の醸成
- ・車中心のまちから、ひと中心のまちへ
- ・歩いて楽しい空間づくり

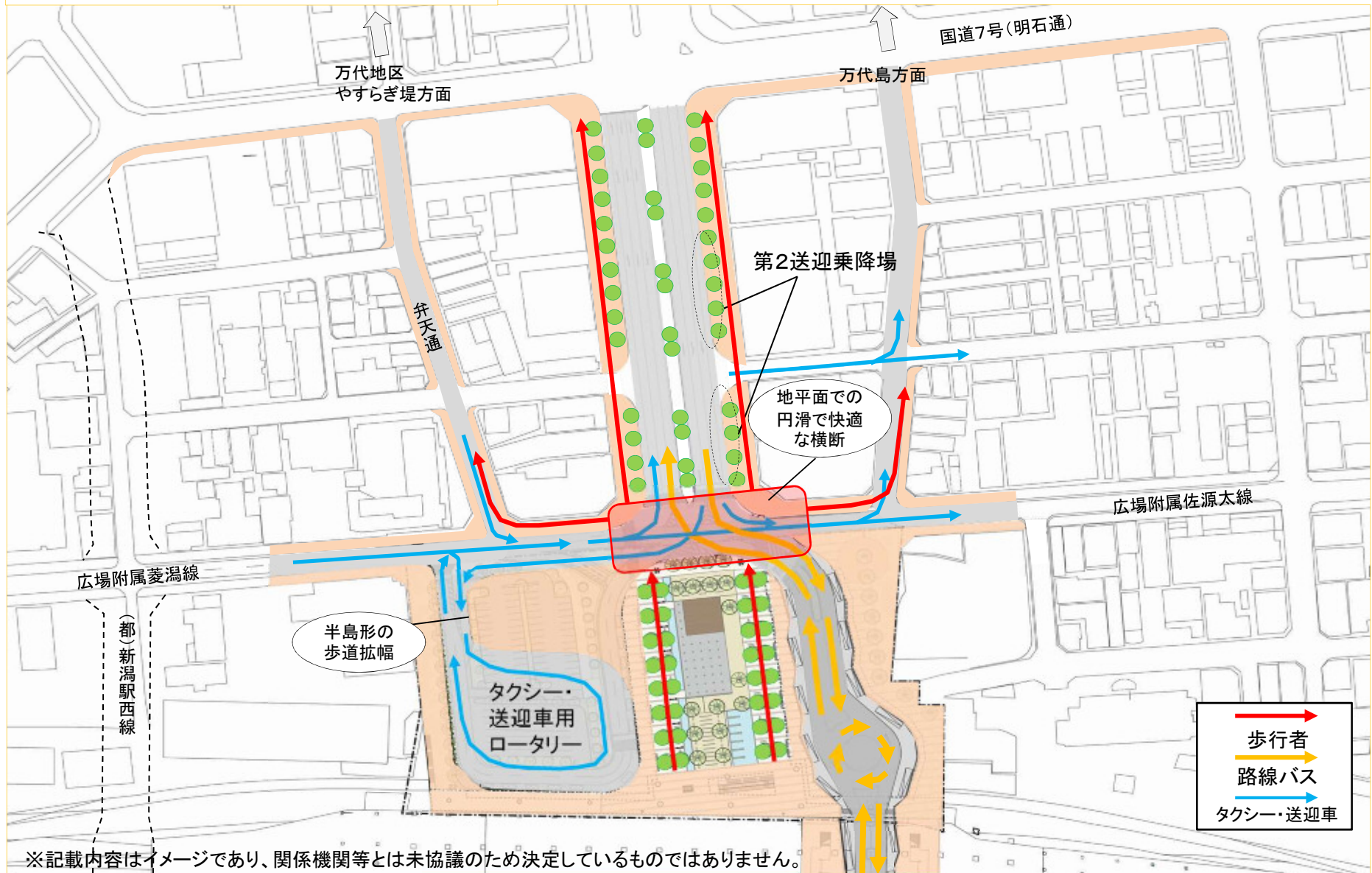
コンペ最優秀作品 基本コンセプトの尊重・継承

- ・時間の経過とともに成長、成熟していく広場
- ・広場内の二列植栽による緑の天蓋となる歩行者主動線

II 万代広場整備(計画)のイメージ ☆2023年度目標の整備後も将来に発展する駅前広場

委員会での意見	2023年度目標の施設整備方針	 将来の方向性と整備内容の例 (周辺幹線道路の整備完了と市民・利用者・周辺住民との協働が必要)
① 連続した歩行者動線の確保	・駅前交差点における地平面での円滑・快適な横断 (スクランブル化等) ・弁天通との連続性を意識し、半島形に歩道を拡幅	◎人と自動車が極力交わらない地平面での連続した歩行者動線 ・駅前広場歩道と対面する街区の連続した空間確保
② 駅とまちの一体感の醸成	・東大通の広告や看板類などの取り組みとの連携 ・駅舎や駅構内のデザインとの調和	◎東大通(駅～明石通)の広場的利用(道路空間の再構築) ・車道を狭め、歩道を拡幅 ・駅前広場から連続する二列植栽
③ ひと中心のまちへ	・人と公共交通中心の整備 ・人を癒し、賑わいの絶えない空間の確保	◎人・公共交通中心の空間形成 ・東大通(駅～明石通)を基幹公共交通(路線バス)と人の通行を優先するトランジットモール化 ・弁天通のモール化 ・タクシー、一般送迎車は広場東側あるいは西側からアプローチ
④ 歩いて楽しい空間づくり	・万代地区、やすらぎ堤、万代島方面へのわかりやすい誘導 ・統一感のある道しるべ設置	・万代地区、やすらぎ堤、万代島方面へのわかりやすい誘導 ・統一感のある道しるべ設置

2023年度目標の施設整備方針



将来の方向性と整備内容の例（周辺幹線道路の整備完了と市民・利用者・周辺住民との協働が必要）

